

2015年8月

HAYAMA YACHT CLUB

第13回葉山・初島ヨットレース公示

NPO法人 葉山ヨットクラブ
レース委員長 犬飼一通

1. 主催： NPO法人葉山ヨットクラブ
運営： 葉山・初島ヨットレース実行委員会（実行委員長 田中 博）
大会会長： 石原慎太郎
2. コース： 葉山沖 - 初島（反時計廻り） - 葉山新宿湾
3. 実施日： スタート： 2015年9月12日(土) 08:00
スタート延期の有無はエントリー受付にて決定する。
なお、予備日を10月17日(土)レースとする。
タイムリミット： スタート時刻より、24時間以内にフィニッシュできなかった艇はDNFとする。
4. 出場資格：
葉山ヨットクラブ所属艇であること。
但し、葉山ヨットクラブ所属艇よりの紹介艇は参加を認める。
日本小型船舶検査機構による有効な船舶検査証を有する艇。
レース期間中有効な損害保険（クラブレースを担保するもの。賠償保険の加入は必須。搭乗者保険、捜索救助保険の加入を推奨する）を有する艇。
連絡手段として2台以上の携帯電話を持つこと。携帯電話はウォータープルーフバッグで保護すること。
5. 適用規則：
本ヨットレースのための公示（本文書）、帆走指示書ならびに安全対策要綱
海上衝突予防法
セーリング競技規則2013～2016版
JSAF外洋レース規則2009
6. 責任の所在：
レース参加者は、自己の責任においてレースに参加するものとする。
乗組員と艇の安全性確保はレース参加者の責務であり、乗組員の死亡、傷害、参加艇の沈没、破損等の事故、ならびに参加艇が第三者に与えた損害については、主催・後援協力等の諸団体、およびその役員、構成員はいかなる責も負わない。

レースの前後ならびにレース中に生じた人身事故および物的事故については、自己の責任において解決すること。

レース参加申込みに当たっては、「参加申込書・出艇申告書」に記載した“責任の所在”に関する文章、ならびに各艇が付保している損害保険がレース中不担保でないことを確認したこと、について「オーナー/代表」または「艇長」が理解し、承諾したことの署名を求める。

7. 参加料：

HYC 賛助会員艇1 艇10,000 円、非賛助会員艇1 艇15,000 円。

参加料には5 名までの表彰パーティー費用を含む。これを超える場合 ¥1,000/1 人とし、パーティー当日支払うこと。

最終的にレース中止となった場合でも、参加料は返金しない。

8. 参加申込：

2015 年8 月24日(必着)までに実行委員会に対し、「参加申込書兼出艇申告書」・「保険証書コピー」を提出し、参加料を支払うこと。なお、前者は、レース当日の最終エントリー確認をもって、出艇申告書として取り扱う。

参加申込書等： 参加申込書兼出艇申告書、は

HYCホームページ：<http://www.hayamayc.jp/clubracereport.html>

より各自ダウンロードのこと。

<http://www.hayamayc.jp/clubrace.html>からも入れます。

提出方法 FAX 、Emailまたは郵送

FAX の場合： FAX 番号 046-873-8750 (田中博)

Emailの場合：pika.morita@gmail.com (森田光一：WAVYHOT CREW)

郵送の場合： 〒240-0112 三浦郡葉山町堀内50 番地 葉山港管理事務所内

葉山ヨットクラブ 葉山・初島レース実行委員会宛

参加料振込先： みずほ銀行湘南台支店(普)1078991

口座名 特定非営利活動法人葉山ヨットクラブ

9. 艇長会議：

9月12日 午前6時50分よりクラブルームにて艇長会議を行うので、それまでに帆走指示書をよく確認すること。

艇長会議に先立ち、レース当日の午前6時30分よりクラブルームにて最終エントリー確認を行う。

このとき、航跡図記入用紙、定置網配置図、その他の変更点等の資料を渡す。

また、乗組員の変更がある場合は、変更された「参加申込書兼出艇申告書」を受け付ける。(この時、記念ポロシャツの配布も行う予定です。)

10. スタート見合わせ規準：

スタート時に、風速18m/s 以上、視程1km 以下となった場合等においては、各気象情報等を参考の上スタートの見合わせを検討する。

その他、レースの安全な運営に支障をきたす気象情報等が発令された場合はこれに限らず慎重に協議し、実施の可否を検討する。

11. 表彰式：

2015 年9 月13日(日) 12:00 より受付。12：30より葉山港管理事務所3 階会場にて表彰式パーティーを開催する。

9月12日荒天時は、予備日10月17日（土）レース 10月18日（日）表彰式パーティーとする。

12. 表彰・順位賞：

葉山ヨットクラブレース委員会の定めるTCF による修正順位の1,2,3 位艇ならびにファーストホーム艇を表彰する。

その他協賛各社から多数の賞品を用意する。

13. 運営と各種問合せ先：

レース委員長： 犬飼 一通 ponton@firstmarine.co.jp

実行委員長： 田中 博 h.tanaka-kyouwa@fuga.ocn.ne.jp

副実行委員長 森田 光一 pika.morita@gmail.com

実行委員艇： 牛若丸V ジャポネーラ ココペリ シオン ウェービーホット

14. 特記事項（SaiIVisionによるレース艇位置モニター）

昨年假採用いした、SaiIVisionを今回のレースでは本採用とし、安全面の観点を含め、陸上のPCでもリアルタイムにレース参加艇の位置および航跡を見ることができるとする。

詳細については、後日連絡する。

以上



2015年8月

第13回 葉山・初島ヨットレース 帆走指示書

葉山ヨットクラブ レース委員会
葉山・初島ヨットレース実行委員会

1. コース: 葉山 第1マーク(新宿湾付近) 初島(反時計) 葉山(新宿湾)【約52海里】
(第一マークが本部船より南側の場合第一マークを時計周り、北側の場合第一マークを反時計周り)
2. スタート: 時刻: 2015年9月12日(土) 08:00(時報)
*スタート延期の有無は、艇長会議にて決定・連絡する。
スタートライン: 葉山港沖の本部船とリミットマーク間を予定。ただし当日の状況による。
スタートライン消滅: スタート時刻の30分後とする。
3. フラグシステム: 別紙のとおり。
4. スタート見合わせ規準:
スタート時に、風速18m/s以上、視程:1km以下となった場合等においては、各気象情報等を参考の上スタートの見合わせを検討する。その他、レースの安全な運営に支障をきたす気象情報等が発令された場合はこれに限らず慎重に協議し、実施の可否を検討する。
5. レース海域危険個所:
レース海域における各種漁業施設及び暗礁等の危険個所については各艇の責任において十分承知・確認しておくこと。委員会で承知している個所についてはあくまでも参考図として概略を艇長会議においても連絡する。
6. フィニッシュライン:
葉山新港赤灯台とそこから磁方位約325度方向に設置した三角ブイ(オレンジ色/ゼニライト付き)を結ぶ線
7. タイムリミット: スタート時刻より、24時間以内にフィニッシュできなかった艇はDNFとする。
8. コース短縮: コース短縮は行わない。
9. 参加資格: 葉山ヨットクラブ所属艇及びその紹介艇
10. 参加料:
賛助会員艇 1艇10,000円、非賛助会員艇 1艇15,000円
*この金額には5名までのパーティ参加料を含み、追加参加者は¥1000/人とする。また、レースが中止となった場合でも、参加料は返金しない。
11. 出艇申告と確認:
出艇申告内容の変更がある場合必ず艇長会議までには届出ること。
いずれにしろ、すでに提出済みの「申込書兼出艇申告書」の最終確認を艇長会議で行うことによって出艇申告書を提出したものとみなす。
12. 帰着申告:
帰着後2時間以内に陸上本部に帰着申告をし、航跡図を提出のこと。
航跡図の提出なき場合は失格とする。
13. 管理事務所への申告:
出艇申告および帰着申告ともに、本部して一括行うので、各艇による個別申告は不要とする。

-
14. レース旗の掲揚：
バックステー又はフラッグポールにHYC旗を掲げること。
15. ハンディキャップ：
レース委員会が定めたハンディキャップ(TCF)を適用する。
16. 表彰： 修正1位から3位まで、及びファーストホームを表彰する。
17. 適用規則：
本レースのための公示、本帆走指示書および安全対策要綱、ならびに以下を適用
セーリング競技規則2013～2016版
JSAF外洋レース規則2009
公式日没時刻から公式日出時刻までは海上衝突予防法が優先される。
日没時刻(神奈川・葉山)； 2015年9月12日 17:55
日の出時刻(同)； 2015年9月13日 5:23
18. その他 指示事項
(1) 電話連絡： 下記の2回の時刻を陸上本部に電話連絡すること。
初島灯台を磁北に見たとき、初島回航時刻
左方に二本の無線塔(柱)があるので誤認しないこと。
フィニッシュ予想時刻の60分前、フィニッシュ予想時刻。
(2) フィニッシュが夜間の場合はスポットライトにてセールを照らし、セールNo.の
確認を容易にすること。なるべく赤灯台近くを通過すること。
(3) 出艇申告したがスタートしなかった艇、途中棄権した艇は直ちに陸上本部へ連絡すること。
(4) 出港から帰着まで全員ライフジャケットを着用すること。
(5) 夜間および荒天時にはセーフティ・ハーネスを着用すること。
(6) 安全確認および緊急連絡用には携帯電話を使用するので常時通話可能な状態にしておくこと。
国際VHF装備艇は常時受電体制にすること。
(7) オートパイロット： シングルハンド艇以外は使用禁止とする。
(8) 抗議および救済の締め切りは最終艇のフィニッシュ後60分とし、抗議書は実行委員会に提出する。
19. レースコミティ： 第13回 葉山・初島ヨットレース 実行委員会
・ 実行委員長： 田中 博(090-2229-9892) h.tanaka-kyouwa@fuga.ocn.ne.jp
・ 陸上本部(初島廻航時、フィニッシュ予想60分前連絡等及び緊急連絡先)：
艇長会議時に発表致します。
・ 実行委員艇：SION、ココペリ、牛若丸、ジャボネイラ、ウェイビーホット
・ HYCレース委員長：犬飼 一通 (090-9231-0554)
・ HYC財務委員長：桑原 健二
20. レース中の緊急時連絡先
1) 上記陸上本部(レース中HYC事務室内)
2) 海上保安庁(救助・救難等重大事故) 118(海上保安部共通)
第3管区海上保安部 045-211-1118(代表)
同管区 横須賀海上保安部警備救難課 046-862-0118
同管区 湘南海上保安署 0466-22-4999
同管区 下田海上保安部 0558 23 0118
同部 伊東マリパトロールステーション(海浜事故対応中心) 0557-35-3085
2) (社)日本水難救済会：葉山救難所(実質葉山ヨットサービス) 046-875-2988
3) 民間：(有)葉山ヨットサービス 046-875-2988

以上



HAYAMA YACHT CLUB

2015年8月

第13回 葉山・初島ヨットレース 安全対策要綱

NPO法人 葉山ヨットクラブ
レース委員長 犬飼 一通
実行委員長 田中 博

非整備艇の出場は、個人の責任により判断をお願い致します。

#	項目	確認内容	SelfCheck
1	艇の責任者の責任	<p>艇と乗組員の安全の確保は艇の責任者の避けられない責任であり、艇の責任者は所有艇を最良の状態、かつ十分な耐航性を有するように保持し、荒天の海にも対抗できる体力と適切なトレーニングを積んだ経験十分なクルーを乗り組ませるように万全をつくさねばならない。</p> <p>艇の責任者は船体、スパー、リギン、セール及びすべての備品を確実に整備し、また安全備品が適正に維持格納され、それらの使用法と置き場所をクルーに熟知させておかなければならない。</p> <p>すべての必要備品は下記の条件を備えていなくてはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> a) その備品に対する定められた機能及び性能を有すること b) 定期的にチェックされ、清掃され、整備されていること c) 使用しないときには劣化を最小限に押さえるよう収納されていること d) 即座に使用できる場所にあること e) 使用目的、ヨットの大きさに適合する型式、寸法、容量のものであること 	
2	重量物	可動型の重量備品、例えばバッテリー、ストーブ、ガスボトル、タンク、工具箱、アンカー及びチェーンなどは強固に固定されていなければならない。	
3	コンパニオンウェイ・ハッチ	ハッチ・差し板などが流れ出ないよう、ラニヤードなどで流れ止めがあること。	
4	軟木の木栓	艇体を貫通して開いている穴には、そのサイズに適合する、柔らかい木で出来たテーパ状の木栓を取りつけるか、ごく近くに収納することが望ましい。	
5	パルピット・スタンション・ライフライン	<p>パルピットとスタンションは恒久的に取り付けられていなくてはならない。</p> <p>これらに取り付けるパルピットおよびスタンションはライフラインがなくても機械的に保持できるように装着されなければならない。</p> <p>ライフラインについては次のとおりであることを推奨する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 直径3mm以上のワイヤーを用いてピンと張られたライフラインが艇の周囲に装備されていること。 2. ライフラインの高さは概ね次の通りとする。 上方のライフラインの高さはワーキングデッキより600mm以上とし、かつ、下方のライフラインの高さはワーキングデッキより230mm以上とする。 3. 上方のライフラインと下方のライフライン間ならびに下方のライフラインとワーキングデッキ間の垂直距離は各各380mmを超えなくてはならない。 4. 1段のみの場合は、ワーキングデッキより450mm以上の高さでタイトに張られていること。 5. ライフラインの素材は以下のいずれかでなければならない。 ・ステンレスの撚り線 ・二重打ちのダイニーマ・ロープ 	

6	ビルジポンプ	手動のビルジポンプ1台またはラニヤードが付いた2個の十分な容量のある頑丈な作りのバケツを装備すること。ビルジポンプハンドルの流れ止めがあることがのぞましい。	
7	コンパス	コンパスは磁気型のマリタイプで艇電源から独立して作動するもの。	
8	航海灯	航海灯はセールや艇のヒールによって隠されない位置に取付けられていること。また、出航前に、点灯確認をしておくこと。	
9	コール	至急の連絡に対応する。なお、各艇より、初島回航時およびフィニッシュ1時間前の陸上本部へのコールを義務づける。国際VHFの装備がある艇には、それを有効に活用することを推奨し、陸上本部においても葉山港管理事務所と連携し、受信・発信体制を整える。	
10	ライフジャケット	出港から帰着まで全員ライフジャケットを着用すること。□ 膨張式ライフジャケットは、正しく機能するよう、事前に点検を行うこと。□ ホイッスルと夜間反射材の装着、ならびに腿紐または股紐を装備することを推奨する。	
11	セーフティ・ハーネス	夜間および荒天時には着用すること。そのほかレース中でも着用することを推奨する。	
12	ジャックライン	セーフティハーネスをしっかりと取付ける場所として、艇の中心線に対して左舷と右舷のデッキ上に、デッキを貫通するボルトもしくは溶接されたデッキプレートもしくはデッキに取り付けられた強固な金具を使って、常時ジャックラインを取り付けなくてはならない。	
13	消火器	1個以上の消火器を取り出しやすい場所に設置すること。	
14	アンカー(チェーン付)	即座に使用できる状態で、適当な組み合わせのロープとチェーンを備えた1組以上のアンカーを備えること。	
15	フラッシュライト	予備電池及び予備電球を持つ防水型でハイパワーのフラッシュライトかスポットライトを装備すること。	
16	救急マニュアル・救急キット	適切な救急マニュアルを搭載し、救命救急キットを用意すること。	
17	フォグホーン	フォグホーンを装備すること。また、作動することを事前に点検しておくこと。	
18	海図	航海用海図一式(電子式のみは不可)、灯台表および海図作業用具一式を装備すること。□ GPSを利用している場合でも、故障した場合にそなえ、1時間おきに海図上にそのポジションをプロットする、また、タック等で航路を変更した場合も同様とする。□ 作成した航跡図は、フィニッシュ後2時間以内にレースコミティーに提出する。	
19	応急操舵装置	通常使われる操舵装置が、金属で出来ていて破損することが有り得ないと考えられる□ ティラーである場合を除いて、舵軸に取付けることのできる非常用ティラーを用意しておくこと。	
20	工具・予備部品、シュラウド、切断工具	静索(スタンディングリギン)を艇体から速やかに外すか、切断することができる工具(リギンカッター等)と予備部品を用意しておくべきである。	
21	ライフラフト・救命浮器	ライフラフトまたは救命浮器を搭載することを推奨する。	
22	信号紅炎	信号紅炎を装備すること。有効期限を過ぎてはならない。全ての信号紅炎を収納箱から出して確認すること。	
23	浮環ヒービングライン	ライフブイ1個以上を搭載し、ライフブイの1個は、ヘルムスマンの手の届く場所に置いて、直ぐに使用できるようにして置かなければならない。	
24	コックピットナイフ	鞘に収めて安全に保管された強固で鋭いナイフをデッキからもコックピットからも使える位置に装備すること。	
25	個人用位置灯水密ストロボライト	発光持続期間が8時間以上の白色の個人用灯火(点灯でも点滅でも可)を搭載し、日没後は装備または携帯すること。	
26	バッテリー・燃料	航海灯、エンジン始動、そのほかの計器の使用に支障が出ないように、出航前にバッテリーを十分充電するとともに、十分な燃料を搭載すること。	
27	レース海域における危険個所の確認	レース海域には、各所において定置網その他漁業施設、暗礁等の危険個所があるが、□それらについて事前に十分承知・確認しておくことは各自の責任である。□ レース委員会が把握した最新情報、フィニッシュ時のアプローチ参考図等は、その概略を艇長会議において配布するが、あくまでも参考情報の一部として取り扱うこと。	

その他実行委員会より安全対策上推奨事項

1	シーコックまたはバルブ	喫水線より下部の船底開口部にはすべてシーコックまたはバルブを取付けること。ただし、必要なデッキスカパー、スピードメーター、測深計等の開口部には、必要に応じてそのふさぐ手段が準備されていればよい	
2	マストステップ	キール上にステップのあるマストの下端は、マストステップまたは付近の構造物に固着されていること。	
3	トイレ	恒久的に取付けられたトイレットまたはそれように使えるバケツを用意すること	
4	携帯電話充電器	水密が確保された携帯電話2台以上および予備電池または艇のバッテリーないしその他の方充電できること。	
5	信号焔	信号焔(沿岸セット)を装備すること。有効期限を過ぎてはならない。すべての信号焔を収納箱から出して確認すること。	
6	ライフブイ(ライン付)	ライフブイを1個以上搭載し、ライフブイの1個は、ヘルムスマンの手の届く場所に置いて、すぐできるようにしておかなければならない。	
7	ハーネス・テザーライン	レース中は着用のこと。 セーフティライン(テザー)は、即時に使用できる状態にしていること。 また、公式日没時以降は装着すること。	
8	マリングレードのレトロリフレクティブ材	ライフブイ、ライフスリング、ライフラクトおよびライフジャケットには、マリングレードのレトロリフレクティブ材(回帰性へ移行反射材)が取付けてあること セーフティライン(テザー)は、即時に使用できる状態にしていること。	
9	携帯電話充電器	水密が確保された携帯電話5台以上および予備電池または艇のバッテリーないしその他の方充電できること。	



HAYAMA YACHT CLUB

2015年8月

第13回 葉山・初島ヨットレース フラグシステム

NPO法人 葉山ヨットクラブ
葉山・初島ヨットレース実行委員会

※ラウンド・アン・エンド ルール適用

スタート 5分前 音響信号1声	クラブ旗 (予告信号) 掲揚 	I 旗 (準備信号) (なし)
4分前 音響信号1声	(掲揚中) 	I 旗 (準備信号) 掲揚 
1分前 長音信号1声	(掲揚中) 	I 旗 (準備信号) (降下)
スタート 音響信号1声	(クラブ旗 降下)	(なし)
レース延期信号 音響信号2声	AP旗 掲揚 	音響信号1声と、降下の1分後に予告信号
リコール 発生 音響信号1声	X旗 掲揚 	
ジェネリコ発生 反復音響信号	第一代表旗 掲揚 降下の1分後に予告信号 	
レースの中止	N旗 掲揚 	
本部船近辺に集合	L旗 掲揚 	



HAYAMA YACHT CLUB

(締切日 8月24日(月))

この用紙をFAX送信してください。 046 - 873-8750 (田中博宛)

2015年 8月

NPO法人 葉山ヨットクラブ

第13回 葉山・初島ヨットレース 参加申込書 兼 出艇申告書

注:本内容を艇長会議で最終確認したものをもって、出艇申告書とみなす。

艇名: _____ セール番号: _____

オーナー/代表名	住所	電話番号
参加受理確認メール送付先		

乗組一覧表

	氏名	年齢	性別	住所	電話番号	パーティ出席予定
艇長	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
乗艇者合計	人				パーティ出席予定者計	人

主催者及びレース実行委員会殿

私は、本レースに関する公示、帆走指示書、安全対策要綱等を尊重するとともに、以下の点について確認し、かつ了解した上で、本レースに参加いたします。

自己の責任においてレースに参加すること。

乗組員と艇の安全性確保は自らの責務であり、乗組員の死亡、傷害、参加艇の沈没、破損等の事故、ならびに参加艇が第3者に与えた損害については、主催・後援・協力等の諸団体、およびその役員、構成員はいかなる責も負わないこと。

レースの前後ならびにレース中に生じた人身事故および物的事故については、自己の責任において解決すること。

また、私は、当艇の損害賠償責任保険がクラブレースに起因する責任も担保している(レース中不担保でない)ことを確認いたしました

2015年 月 日

オーナー、代表又は艇長 署名: _____

	電話番号	氏名	
携帯電話 1			
携帯電話 2			国際VHF
携帯電話 3			有・無

大会記念品申込

購入ご希望の数を下記にご記入の上お申込みください。(大会記念ロゴ入り、生地色はオレンジのみ)

サイズ	数量
Sサイズ	
Mサイズ	
Lサイズ	
LLサイズ	
3Lサイズ	
合計数量	

販売価格:2,000円(1着)

各サイズとも数に限りがございますので、Fax先着順とさせていただきます。

レース当日、艇長会議にてお渡します(代金は参加料と合わせ振込)。

8/24(月)の締切以降のサイズ/枚数の変更はできません。

あらかじめご了承ください。

(振込額記入)

振込合計= 参加料¥10,000(会員の場合)+ポロシャツ代 = ¥